



## 地形・地質

大分平野は丘陵，段丘および沖積面からなります。丘陵の主体をなす地層は中新世の碩南層群と更新世前期～中期の大分層群からなります。これらの地層は浸食されて6段の段丘面をのせています。

大分平野の地質層序表

丹 生 台 地		関 東 地 方		ヨーロッパ	
層 序		地形面	層 序	地形面	の氷期区分
九 重 層 群	オレンジローム 旧期沖積層	野 丹川面	立川ローム 立川砂礫層	立川面	Würm
	丹川砂礫層				
	延命寺砂礫層	砂礫層	武蔵野面		
	城原層				
	一木凝灰岩	城原面	武蔵野・山手 砂礫層	下末吉面	
	岡泥層				
小原台砂礫層	丹生面	下末吉ローム 始々崎層	多摩面	Riss / Würm	
大在層	大在面	多摩ローム	地蔵堂層	Riss	
志村砂礫層					
大 分 層 群	高城互層	笠森層	佐貫層 長浜層	Mindel	Mindel
	真木砂礫層	三浦層群			Günz / Mindel
	滝尾層		三浦層群	Günz	Günz
				Donau / Günz	

